

12/10 (土) 市民公開講座 開催!

講演 「黒潮と植物—土佐清水と五島を中心として」

太平洋に面し、黒潮が接岸する土佐清水市。漁業や観光業など、土佐清水の街は黒潮と共に発展してきました。土佐清水の植物も、実は黒潮と深い関わりがあります。黒潮がもたらす温暖多雨な気候や潮風は、豊かな森林や独特な植物たちを育みます。さらに、植物の種子を運ぶ黒潮などの海流は、土佐清水や長崎県の五島列島など、暖流沿いの地域に亜熱帯の植物をもたらしました。今回は、海岸植生研究の第一人者であり、五島列島ジオパークの学識顧問を務める中西弘樹氏に、黒潮や海と植物の関わりについて解説していただきます。

日時：12月10日(土) 10:00~12:00

※事前申し込み不要

会場：中央公民館 3階 多目的ホール

講師：中西 弘樹 長崎大学名誉教授

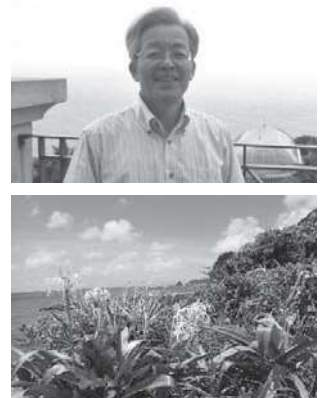


←詳細はこちら

お問い合わせ：土佐清水ジオパーク推進協議会

TEL：0880-87-9590 FAX：0880-87-9595

Mail：geopark@city.tosashimizu.lg.jp



石の顔 福徳岡ノ場からの漂着軽石

台風や時化の後の浜には様々なものが打ち上げられます。9月半ばの台風14号の後、桜浜で見つけたのは、2021年8月に噴火した海底火山、福徳岡ノ場からの漂着軽石です。

軽石は、火山が噴火するときに噴き出したマグマが急激に冷えて固まったもの。火山ガスが急激に抜けるため、たくさんの穴が空いています。軽くて水に浮き、海流に乗って世界中へ運ばれます。

軽石の見た目は、マグマの成分などによって異なります。福徳岡ノ場由来の軽石の特徴は、灰色っぽい色や黒い鉱物の粒など。桜浜で拾ったものには、表面にエボシガイやウズマキゴカイなどが付着していました。(ジオパーク専門員・森口夏季)



福徳岡ノ場の位置

海上保安庁海域火山

データベースをもとに作成

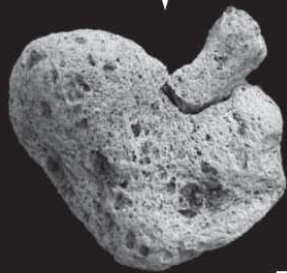
福徳岡ノ場★

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKO>

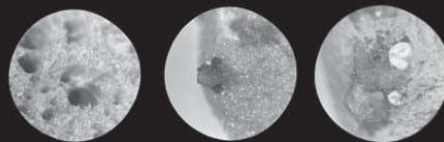
[KUSAI/kaiikiDB/kaiyo24-2.htm#latlon](https://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKO/KUSAI/kaiikiDB/kaiyo24-2.htm#latlon)

福徳岡ノ場由来の軽石 (中城)
採集地：沖縄県中城村
提供：東京都立大学 石村大輔 氏

福徳岡ノ場由来の軽石 (桜浜)
採集地：高知県土佐清水市桜浜
エボシガイやウズマキゴカイが付着している。



3 cm



福徳岡ノ場由来の軽石の顕微鏡写真 (45倍)

(左) たくさん空いた大小の穴は火山ガスが抜けた跡

(中) チョコチップのような黒い粒は鉱物の結晶

(右) 桜浜へ漂着した軽石の表面に付着したウズマキゴカイ



桜浜や大岐浜でよく見られる軽石
福徳岡ノ場由来のものより白っぽく、黒い粒も入っていない。

発行

土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0450 土佐清水市三崎字今芝 4032-2
TEL 87-9590 MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp

WEB

